令和 4 年度第 1 回大垣市多文化共生推進会議会議録

令和4年7月4日(月)午後2時から、令和4年度第1回大垣市多文化共生推進会議を、 市役所4階・情報会議室において開催した。

その内容は、次のとおりである。

1 議 題

- (1) 大垣市多文化共生推進指針の令和3年度事業実績・令和4年度事業計画について
- (2) その他

2 参加者

(1) 出席委員(11人)

髙橋 利行 学識経験を有する者

臼井 千里 多文化共生又は国際交流活動に関係する者

川瀬 充弘 多文化共生又は国際交流活動に関係する者

社本 久夫 多文化共生又は国際交流活動に関係する者

岡本 幸 多文化共生又は国際交流活動に関係する者

堀 和英 地域活動に関係する者

堂前 伸行 地域活動に関係する者

鹿野 由美子 地域活動に関係する者

尾崎 和美 市民公募による者

山﨑 幸輝 市民公募による者

西村 ジャーニィ 市民公募による者

(2) 欠席委員(なし)

(3) 事務局(4人)

杉田 昭子 大垣市市民活動部長

中川 智臣 大垣市まちづくり推進課長

平野 暁 ″ 多文化共生推進グループ主幹

間山 直子 主査

3 傍聴者

1人

4 会議の概要

- (1) 委員委嘱
- (2) 委員自己紹介
- (3) 委員長・副委員長の選任、会議録署名者の指名
 - ・ 委員の互選により、委員長に髙橋委員、副委員長に臼井委員を選出
 - ・ 髙橋委員長が、川瀬委員及び社本委員を会議録署名者に指名

(4) 主な内容

発言者	内 容
髙橋委員長	・ 議題の 1「大垣市多文化共生推進指針・令和 3 年度事業実績及び
	令和4年度事業計画について」事務局に説明をお願いする。
平野主幹	※ 議題の(1)について説明
髙橋委員長	・ 令和 3 年度事業実績及び令和 4 年度事業計画について、どの観点
	からでも結構ですので、ご意見をお願いします。
川瀬委員	・ 事業実績の評価をされるのは、まちづくり推進課ですか。
	また、何をもって目標を上回る効果があったか、成果がなかったか
	を判断されているのでしょうか。
平 野 主 幹	市役所で事業を担当している担当課から、それぞれ事業の実績と
	評価を出してもらっています。その担当課が評価した○、◎を見
	て、適切であると判断すればそのまま採用しておりますし、まちづ
	くり推進課で評価の見直しをお願いする事もございます。
髙橋委員長	・ 自己評価ということですね。委員の皆さまが見て、これは違うでし
	ょうという意見があってもいいということですね。
川瀬委員	・ 事業計画があれば、事業の予算決算も当然あると思います。なぜ事
	業計画だけ審議をするのでしょうか。
中川課長	・ これにつきましては、指針という事で、方向性を見出すためのもの
	ということでやっております。コロナなどがあって、時々刻々と変
	化していきますので、これから 5 年間で進むべき方向性を示した
	指針に向かって事業を行うことを考えております。今回頂いた意
	見を受けて、来年度以降改善したいと考えております。
髙橋委員長	• 例えば、資料 No.3 の後半3ページからが事業計画になっていて、
	ここに予算がぶら下がっているのだろうと思います。実際問題、こ
	こに予算の記載があればとの意見だと思いますので、川瀬委員さ
	ん、この部分をクリアにした方がいいですか。

発言者	内容
川瀬委員	・ せっかく評価が出ているので、細かい数字でなくてもいいので出
	して評価がいると思います。
中川課長	・ 今後それらを網羅して、この会議で報告させていただくように改
	善していきたいと思います。
臼井副委員長	私も評価の部分がとても気になりました。今回、△が結構あって、
	なぜ△になったのか知りたいと思いました。外国から来れなかっ
	た、そういう機会がなかなか作れなかったという部分でこういう
	数字になったのだろうと思います。また、受講された方からのアン
	ケートはどのように反映されているのかなということが気になり
	ました。
中川課長	・ 資料 No. 2 を見ていただくと分かると思いますが、昨年度新型コロ
	ナウイルス感染症により、例えば 5 ページの国際交流協会の日本
	語教室の託児ルーム事業は開催することができませんでしたので
	△としております。9ページのフレンドリーシティ交流事業につき
	ましても、受入・派遣とも実施できなかったので△になっておりま
	す。
山﨑委員	・ 昨年度の新規事業に多言語版防災映像事業とありますが、ホーム
	ページを見てはじめて分かる事なのか、こういうものを作りまし
	たので見てくださいよというものなのか。また、ホームページ等で
	公開したとありますが、「等」はどのようなものなのか、また、閲
	覧数はどのくらいなのか、教えていただきたい。
中川課長	・ 閲覧数につきましては、そこまでは調べておりません。作成したも
	のは、メール配信や SNS などでそれぞれの言語により、「ホームペ
	ージを見てください。」と情報発信をしております。
	・ まちづくり推進課の待合場所にテレビモニターを設置し、コロナ
	関係や防災関係の映像を常時流しています。通訳をお待ちいただ
	いている間などに、見ていただけます。
	・また、今年度は先週から始めていますが、外国人市民を対象にした
	日本語教室を活用して、防災講座を大垣国際交流協会と実施して
	います。その場でもこの映像を見ていただいて、コロナ禍の避難所
	対応などを知ってもらっています。このようにいろんな場所で周
	知を図っていこうと思っております。

発言者	内 容
髙橋委員長	せっかく作ったものなので、いろいろなところで活用していただ
	きたいですね。
西村委員	・ 私は二児の母ですので、教育が一番大事だと思います。私の周りに
	いろいろな外国人がいます。学校から配られるお知らせは日本語
	で書いてあるので、意味が分からないお母さんがいっぱいいます。
	特に外国から来たばかりで、両親二人とも外国の方だと本当に意
	味が分からないと思います。私もお手伝いしていますが、学校のホ
	ームページで大事なことはポルトガル語や中国語に翻訳して載せ
	てもらえるといいと思います。それで困っている方がいっぱいい
	ます。参観日を知らず、行けなかったという話をよく聞きます。
鹿野委員	・ 学校における文書の翻訳については、通訳等をする指導補助員を
	市で10人派遣しており、県費で2人派遣しています。事前に学校
	からデータを頂いたことは、できるだけタイムリーに翻訳ができ
	るようにしていますが、全部という訳にはいかず、必要なところだ
	けピックアップして翻訳しております。
	・ 学校独自のものとなると、10 人の先生方が学校に行けるのが週に
	1回くらいで、学校に行ったときにその場その場でやっていくとい
	う形です。
	・ 初期指導教室が西小学校にありますが、そちらにも指導補助員さ
	んが入っているので、そちらでも翻訳のお手伝いをしていただい
	ています。
	・ 保護者対応としては、翻訳機を使いながら会話対応をしておりま
	す。外国人児童が多い学校は、学校の独自予算でアプリを入れてい
	るところもありますが、まだ今年度からですので、どれくらいの成
	果が得られているのかは、把握できておりません。
中川課長	・ 保育園・幼稚園等に関しては、まちづくり推進課で依頼があった園
	だより等を翻訳して配布しています。ポルトガル語2人、中国語1
	人、英語1人で対応しておりますので、全部はできませんが、なる
	べく間に合うようにしております。ただ、人数が少ないですし、昼
	間は通訳で抜けていますので、その点は頭を悩ませているところ
	です。

発言者	内容
西村委員	・ 学校の保護者の会の役員に外国人の方が入れば、翻訳をお願いす
	ることができ、予算もあまりかからないし、そういうことができれ
	ばうれしいです。
髙橋委員長	なかなかいいアイデアだと思いますが、鹿野委員どうですか。
鹿野委員	・ 指導補助員等で役員をやられて方もみえます。積極的に保護者の
	会に出ていただける方が増えればありがたいです。
尾崎委員	・ 新規事業の外国人市民のための弁護士による相談事業ですが、以
	前、私が読んだ書籍の中で、日本での外国人の裁判において、法廷
	通訳の話し方や通訳内容で刑の量刑に影響したと記述してありま
	した。
	・ 日本語が堪能ではない方が通訳を介してということになると、通
	訳者によって、どのように言葉を伝えるかでニュアンスが変わっ
	てしまうと思うので、どういう形で法律相談をするのか教えてい
	ただければと思います。
社 本 委 員	・ この事業は今年からで、国の外郭団体である法テラスからお話が
	あって、月に1回の予約制の無料相談を行っています。
	・ 言語については、大垣国際交流協会で通訳が可能な英語とポルト
	ガル語と中国語の3か国語だけですが、事前に法テラスの指示に
	従い、必要な資料等を持ってきていただいています。
	・ 県内では、大垣国際交流協会(第4日曜日)だけではなく、第2木
	曜日に県の国際交流センターでも同様に始まりました。
	4 月に始まったばかりで言語で問題になっている点は今のところ
	ないですが、専門の法廷通訳者ではないので、難しい面があるかと
	思います。
	ただ、今まで通訳者がいる法律相談がなかったため、県内在住であ
	れば相談できますので、他市町村の外国人からも最近問い合わせ
	が増えてきています。件数の実績は4月が2件、6月が2件です。
髙橋委員長	続きまして、議題2のその他として自由にご意見をお願いします。
岡本委員	・ 大垣市は、病院や学校での通訳支援などもあり、住みやすいところ
	ですので、外国人は移動したくないと言っています。ある方は転出
	したのですが、転出した後、大垣市がどれだけいいところだったの
	か分かりましたと言っていました。

発言者	内容
髙橋委員長	・ 大垣の取り組みが評価されたということですね。
尚 做 委 員	 ・ 大垣の取り組みか評価されたといっことですね。 ・ そうですね。大垣市は住みやすいと思っています。大好きです。 ・ 放課後児童教室は9年目になり、子どもの接し方や親が持っている問題との向き合い方も分かってきました。 ・ 経験は大事ということと、継続して向き合うことの大切さについて実感しています。小・中学生は親と、県の事業で高校生は本人の相談にのっています。 ・ 日本語ができなくて困っている人がいますが、どうやって相談すればいいか分かっていない人もたくさんいます。困ったときに誰かに相談しますが、困ったときだけなのでその後まで分かりませ
	λ_{\circ}
堀 委 員	 自治会という立場で申し上げると、防災対策が一番大事になってくるのではないかと思います。連合自治会としては校区別に避難対策をするということで、これから組織づくりを進めていくところです。 外国の方も避難をすることが出てくると思います。その中で言葉の問題がでてくると思います。避難所等に通訳を置いていただくことが非常に大事になってくると思います。
中 川 課 長	 災害時においては、通訳を常時配置することはできませんが、何かあれば相談していただき、ポルトガル語通訳や中国語通訳を派遣する対応をさせていただきます。 大規模災害になりますと、行政向け多言語通訳サービスや翻訳機などの通訳システムを持ち込んで対応していくしかないのかなと思っております。 現場が混乱しないように、先ほどの防災映像のように、ルールについて知らせるなど事前周知に努めています。 通訳については、人の確保が難しいですので、これからも検討課題としていこうと思います。
髙橋委員長 臼井副委員長	もしもの時というのは難しいですね。防災はいつ起きるか分からないという部分で、日本人でも大変ですが、外国の方には言語の問題が常に付きまとっていて、通訳を本業にしている人はそんなに多くないので、普段からネットワーク

発言者	内容
	を作っておくことがとても大事だと思います。
	・ エリアによってはポルトガル語、または中国語で対応しないとい
	けないなどありますし、専門的な言葉になると余計に難しい言葉
	もあります。
	・ 自治会ですと、先に誰が住んでいるのか把握できると思います。こ
	の人に言うと周りの人に伝わるというようなこともあると思いま
	す。
	・ また、AI の活用ですが、30 言語の通訳ができるようになっている
	とのことですが、そういうことも知ってもらうことが大切だと思
	います。
西村委員	・ 私は自治会の役員をしていて 4 年目です。いろいろ防災の事を決
	めて、後で回覧板を回しますが、日本語だけなので、外国人がどれ
	だけ理解できたか分かりません。
堀 委 員	そういった自治会の中に外国人の方も加わっていただくのがいい
	と思います。
髙橋委員長	・ 外国人市民の活躍ということもありますので、ぜひ自治会にも加
	わって一緒に考えていくというのが一番いいですね。
中川課長	・ 外国人防災リーダーの関係でも、岐阜県で防災士の育成事業をし
	ており、拠点での活躍もしていただきたいですし、県と協力しなが
	ら拡充していきたいと思っております。
臼井副委員長	ピクトグラムのような絵で伝えることができる表示は、とても助
	けになると思います。文章を翻訳するだけでは年齢層や文書理解
	によって難しい部分があるので、分かりやすい表記の仕方をする
	ことが大事だと思います。
	ピクトグラムは、オリンピックによって世界に広まったと思いま
	す。デザイナーの人はこんなことまで考えるのかというほどうま
	く考えられていると思います。それをうまく使っていく必要があ
	ると思います。今後はさらに多言語、多文化になっていきますの
	で、余計にそう思います。
尾崎委員	・ 昨今、朝日新聞に載っていました外国人親子の実情や福祉人材に
	ついての記事を用意しました。福祉人材についてはベトナムやネ
	パールが多いですが、日本では少子高齢化が進んでいますし、送り

発言者	内容
	出し国も国が変わってきています。10年、20年すれば日本もまた
	変わっていくと思いますが、これからも日本を選んでもらえるか。
	今はアジア中心ですが、最終的にはアフリカから送り出し人材を
	受け入れるというシンクタンクの情報もあるという記事を見つけ
	ました。
	・ 20 年くらい前は中国から留学生が来て、先進国の日本のことを学
	んでいましたが、中国は経済大国となり、今は世界の大きな渦巻き
	の中に私たちもいる訳ですが、その中で多文化共生を考えていか
	なければならない題材としてこの記事を配りました。
山﨑委員	・ 福祉関係はずっと人手不足が続いています。ちょっとでも条件の
	いい所を選んでそっちに流れていってしまう状況です。施設とし
	ては、外国人を雇用しても辞められては意味がない。保育士など国
	の方で補助を考えてくださいますが、人材不足は共通で考えてい
	かなければいけない問題だと思います。外国人の方にもそれなり
	の賃金を支払って、人材を確保することが大事かなと思っていま
	す。
堂前委員	・ 大垣地区でハローワークにみえる 75%の方が南米のブラジル・ペ
	ルーです。その他、フィリピン、中国、最近増えてきたのがベトナ
	ムです。
	・ 福祉人材に限ったことではないですが、受け入れられる企業側に
	お聞きすると、作業の指示はすべて日本語のため、ある程度日本語
	が話せることが雇うための最低条件になっています。会社側は日
	本語の勉強をさせる余力がある場合は少ないので、自分でがんば
	って勉強して、日本語を話す能力を高めることが必要だと思いま
	す。
	・ 福祉関係の方から伺ったのは、有資格者と無資格者の割合があっ
	て、有資格者がいないから無条件に外国人を受け入れられないと
	いう事もあります。福祉関係ではより高いコミュニケーション能
	力が求められます。
	・ 私も福祉関係の事業所や会社も回りますが、それぞれの事情もあ
	るため、すぐに解決できる訳ではないと思っています。

発言者	内容
髙橋委員長	・ 今回、新規事業で市長とのグローバルトークとありますが、もう予
	定は決まっていますか。
中川課長	予算上は2回ほどできればと考えておりますが、コロナの状況も
	ありますので1回は開催できればと思います。その1回は、大垣市
	で一番多いブラジル人を対象にした意見トークをして、みなさん
	の課題になっている意見をお聞きしたと思っております。
髙橋委員長	・ 外国人市民の活躍ということからも、みなさんの意見を聞き入れ
	ていただけるといいと思います。
堂前委員	・ ここ最近、事業所から通訳を貸してもらえないかという依頼が何
	件かありました。外国人従業者と事業主の間でトラブルが起き、
	日本語がうまく伝わらないということで話が平行線のままで非常
	に困っているということです。事業主への支援は大垣市としてど
	う捉えられているのでしょうか?
中川課長	・まちづくり推進課にも通訳がいますが、なかなか企業へは行けま
	せん。今、解決することはできませんが、今後の検討課題にさせて
	いただきたいと思います。
堂前委員	ハローワークでも通訳を派遣することはできませんので、我々も
	何とかしてあげたいのですが、いかんともしがたいジレンマの中
	でやっております。
中川課長	・ 労使問題で言葉を間違えることはできませんので、ボランティア
	通訳さんにはお願いできない難しい部分があると思います。なか
	なかいい方法が出てきませんので、またご相談させてください。
西村委員	・駅前の商店街には居酒屋はたくさんありますが、あまり活気がな
	く寂しいです。空き店舗を外国人に安く借せるなら賑やかになる
	のではと思います。
中川課長	・ 空き店舗の家賃補助という制度があり、日本人も外国人も対象に
	なります。老朽化した店舗については、改修費用がかかり、なかな
	か厳しい部分があります。
髙橋委員長	いろいろ多方面にわたりご意見を頂きましてありがとうございま
	した。また何かありましたら、事務局の方へご意見を寄せていただ
	ければと思います。

発言者	内 容
中川課長	・ みなさまからのご意見を伺い、柔軟性を持って、その時に合わせて
	軌道修正できるのが指針のいい所だと思うので、皆様方から頂い
	た意見を少しずつ入れながら、外国人市民と日本人市民がともに
	共生できる大垣市を作っていきたいと思いますので、引き続きご
	協力いただきますようお願いします。

終了時刻:15:30